授業づくり研修講座　実践レポート

座間市立相模野小学校　　氏名　　吉川　智之

単元名　　第3学年　　「こんなやり方をおすすめします。」

実践のポイント（工夫）

・カード（ポスター）を作成する際の効果的な挿絵の使い方について。

実践内容

|  |
| --- |
| 「こんなやり方をおすすめします」は，生活の中で自分が（自分の家で）行っている特別な事柄をカード（ポスター）にして紹介する学習単元である。カードで紹介する内容は，「お菓子作り」「掃除の仕方」「遊び」「工作」など内容は多様であり，子どもたちが内容を自由に選択して行うことができる。カードを作成する際には，読み手を意識して「いかにわかりやすく構成するか」「初めて読んだ人でも再現できるか」などを意識して活動を行う。文章の順序を考えたり，書くことの内容をいかに短くわかりやすくしたりする活動を通じて，児童の論理的な文章能力の高まりが期待できる。今回の実践では，「効果的な挿絵の使い方」を児童に考えさせる活動を行った。具体的には，挿絵が入っていないカードを準備し，挿絵が入っているものと見比べて挿絵の良さを子どもたちにグループで話し合わせた。挿絵が入っているものの意見としては，「わかりやすい」「文字がなくてもある程度わかる」「見てすぐに作れる」「興味がわく」などの意見があがった。また，話し合いの後には児童各自に「自分だったらどのような挿絵をいれるか」を考えさせる活動を行った。（話し合いの活動・挿絵の位置を考える作業で合計2時間）実際に自分のカード作りの時には，かなりの児童が下書きの段階で，挿絵の構図や構成をじっくり考えて作業を行うことができた。 |

振り返り（成果や課題）

【成果】

・じっくりと構成を考える時間与えたので，挿絵だけでなく挿絵につける文章や，大切な文章を目立たせるために色をつけるなど，児童がそれぞれ工夫して作品づくりに取り組めた。

・話し合うことで，情報が共有されたのでそれがカードづくりに生かされていた。

【課題】

・児童の個人差が大きく課題となった。自分のカードの内容を決める段階で，なかなか決められない児童がおり，テーマが挿絵を生かせないものを選んだ児童もいた。